プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/5/28　（更新_画像差し替え）

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

塩原友子の日本画　線と表現、その先の祈り

Tomoko Shiobara’s Nihonga　Line and Expression, Beyond Stillnes

2026 年 4 月 25 日（土）～6 月 14 日（日）



「塩原友子の日本画　線と表現、その先の祈り」　会場風景

プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/3/3

概要

群馬県前橋市出身の日本画家・塩原友子（1921―2018）は、一貫して独自の表現を追求し続けた画家です。教員として働きながら制作を続けた戦中期を経て、終戦後には本格的に絵画を学ぶことを決意し上京。望月春江に学び、その後、井上三綱との出会いを通して、画面構成や素材、表現手法に対して意識的な実験を行うようになります。1960 年代には、幾何学的な構図や抽象的要素を積極的に取り入れ、さらにコラージュや絵肌の表面を引っ掻いて線を描くといった、日本画の伝統的な枠にとらわれない手法を展開。やがて曼荼羅など宗教的モチーフにより、精神性を帯びた作品を手がけます。これらの変遷は、画家としての自立、戦後変化する価値観の中での模索、そして内省といった塩原の創作の軌跡を映し出しています。当館は、塩原の初期から晩年に至るまでの作品 47 点を収蔵しており、本展ではこれらを中心に構成し、彼女の画業を振り返ります。

開催概要

【展覧会名】塩原友子の日本画　線と表現、その先の祈り
【会　　期】2026 年 4 月 25 日（土）～6 月 14 日（日）
＊5 月 21 日（木）から一部に展示替えあり。
【会　　場】アーツ前橋　1 階ギャラリー＋地下ギャラリー
【開館時間】午前 10 時～午後 6 時（入場は午後 5 時 30 分まで）
【休 館 日】水曜日（4 月 29 日、5 月 6 日は開館、翌日休館）
【観 覧 料】一般：600 円、学生・65 歳以上・団体（10 名以上）：400 円、高校生以下：無料
＊1 階ギャラリーは観覧無料
＊障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方 1 名は無料
＊5 月 4 日（月・祝）「みどりの日」、5 月 10 日（日）「母の日」は無料
【主　　催】アーツ前橋
【特別協力】株式会社ヤマト
【後　　援】上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、
前橋商工会議所

プレスプレビュー

【日　　時】2026 年 4 月 24 日（金）
【時　　間】午後 2 時～ 6 時（※最終入場時間は午後 5 時 30 分まで）
※午後 2 時より担当学芸員が作品を紹介します。
（午後 3 時 30 分終了予定）
参加ご希望の方は、ＱＲコードもしくは以下 URL からお申込みください。
https://logoform.jp/form/dWZu/1467597

本展の見どころ

1. 初期から晩年まで、大規模個展

前橋市出身の画家・塩原友子（1921–2018）の大規模個展です。戦中から戦後へと社会の価値観が激変する中、画家としての道を選び、師との出会いを経て、独自の画風を広げていきました。当館所蔵作品を中心に初期から晩年に至る 100 点余りの作品と、写生や下図、印章、書簡などの資料を展示します。画業の全貌を体系的に紹介する貴重な機会です。

2. 日本画の枠を超えた挑戦

伝統的な日本画の技法に留まらず、1960 年以降、幾何学的な構成やコラージュ、画面を引っ掻く描法などさまざまな手法を次々と展開しました。その前衛的な造形表現は、針生一郎の評価をうけ、片岡球子や中村正義、星野真吾らとともに「これが日本画だ！」展に選出され、注目されました。

3. 描く、刻む、重なりが生む「線」の表情

多様な表現による「線」に注目します。伝統的な筆による描線にとどまらず、画面を鋭く引っ掻いて刻み込まれた線、紙を切り貼りするコラージュが生み出す境界の線、そして立体的な重なりでできる影の線。平面に奥行きを与えようとした多様な「線の表情」をご覧ください。

作家プロフィール



塩原 友子（しおばら・ともこ）

1921 年群馬県前橋市生まれ。群馬県女子師範学校を卒業、教職に就いた後、武蔵野美術学校（現・武蔵野美術大学）に編入。1952 年日本画院に初出品で奨励賞受賞、以後日本画院展を中心に発表。1966 年針生一郎企画の「これが日本画だ！」展に出品。主な個展に「特別展示 塩原友子」（2004 年、群馬県立近代美術館）など。2018 年没。

関連イベント

（1）学芸員によるギャラリートーク

【日　　時】5 月 2 日（土）、5 月 31 日（日）午後 2 時～3 時
【会　　場】アーツ前橋ギャラリー
【定　　員】どなたでも（未就学児は保護者同伴）、申込不要
【参 加 費】無料 ※当日の観覧券をご提示ください。

（2）塩原友子展　記念講演「塩原友子と日本画変革の時代」

塩原友子と同時代に活躍した画家たちが、日本画の枠を超えて挑んだ前衛的な表現と活動についてお話いただきます。

【日　　時】5 月 23 日（土）午後 2 時～3 時 30 分
【会　　場】アーツ前橋スタジオ
【講　　師】菊屋吉生（山口大学名誉教授）
【定　　員】40 名程度（事前申込）
【参 加 費】無料 ※当日の観覧券をご提示ください。
【申込方法】4 月 25 日（土）より公式 HP の申込フォームまで

（3）おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターとともに、気づいたことや感じたことなどおしゃべりしながら鑑賞するプログラム。展示中の 2 作品を鑑賞します。所要時間 40 分。

【日　　時】5 月 9 日（土）、6 月 13 日（土）午後 2 時～
【会　　場】アーツ前橋ギャラリー
【定　　員】5 名程度（事前申込）
【参 加 費】無料 ※当日の観覧券をご提示ください。
【申込方法】公式 HP の申込フォームまで

※イベントの内容は追加・変更になる場合があります。
　下記の展覧会 HP で最新情報をご確認ください。
　https://artsmaebashi.jp/exhibition_post/2026-shiobaratomoko/

プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/3/3

広報用画像

【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/3/3

広報用図版

広報用画像として本リリースに掲載している画像をご用意しております。
ご希望の場合は、こちらの URL からお申込みください。
https://logoform.jp/form/dWZu/1467772
※お申込み後に、ダウンロード用の URL と PASS をお送りします。

記事掲載についてのお願い

※掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
※画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
※掲載記事や VTR は、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
※取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。
※画像の使用は本展覧会の広報目的に限り、個人ブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

番号	キャプション・クレジット
【1】	塩原友子《橘の里》1997 年
【2】	塩原友子《鏡の前》1955 年
【3】	塩原友子《青い花》1992 年
【4】	塩原友子《日月曼荼羅図屏風》1983 年
【5】	塩原友子《漠》1962 年
【6】	「塩原友子の日本画　線と表現、その先の祈り」メインビジュアル　デザイン：橋詰冬樹
【7】	塩原友子肖像　撮影：藤重朋紀　©FUJISHIGE Tomonori

プレスリリース
PRESS RELEASE
2026/3/3

お問い合わせ

アーツ前橋
前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課
担当：酒井・藤野(広報担当)、 辻・武田(学芸担当)
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16
TEL：027-230-1144　FAX：027-232-2016
URL：https://www.artsmaebashi.jp/
Email：press@artsmaebashi.jp

交通案内

[公共交通機関]
JR 前橋駅から徒歩約 10 分
JR 高崎駅から西口 1 番のりばから路線バスに乗車（前橋駅前行）約 35 分　「本町」下車、徒歩約 2 分
JR 渋川駅から駅前 1 番のりばから路線バスに乗車（前橋駅行）約 40 分　「本町」下車、徒歩約 2 分

[自動車]
関越自動車道 前橋 IC から車で約 15 分

※Pマークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に 4 時間無料の割引処理をいたします。

